「第2回つくば横の会」開催概要　テーマ：つくばをイノベーションの街にする

いますぐ参加申し込みを！

https://www.facebook.com/events/1061033313969417/

日時：2016年**6月18日(土)** 14:00～18:00、終了後19:00から別会場でレセプション

場所：**筑波大学 春日エリア 情報メディアユニオン** 2F メディアホール

http://www.kc.tsukuba.ac.jp/access.html

定員：120名（先着順）

入場：無料（上記Facebookイベントページに「参加」とすることで参加登録となります）

※Facebookアカウントが無い方は、つくば横の会事務局 <TsukubaYokonokai [at] qwik.jp>までご連絡ください。

※参加者管理の手間をおさえるため、できるだけFacebokでの参加登録をお願いいたします。

主催：つくば横の会＋筑波大学土井研究室＋落合研究室

ハッシュタグ： #つくば横の会

開催趣旨

ニコニコ学会βやIPSJ ONEなどの先端的なメディアを活用した学術イベントが多数開催されるようになってきた。そのようなイベントはIT系研究者が中心となって開催しているが、その中にはつくばに在住・勤務してる方も多数存在する。
また、つくばは研究学園都市として開発・発展してきたが、研究機関間の横のつながりが乏しいという問題がある。基礎研究を目的とした時代には問題ではなかったかもしれないが、イノベーションを起こすという目的においては大きな問題となる。
そこで、そのような問題意識を持つ人を中心に、2015年に「つくば横の会」を発足し、同年6月に「第1回つくば横の会」を開催した。14人の研究者、経営者が横の連携をテーマに議論を行った。
「つくば横の会」は、つくばという場に可能性を感じ、より面白くしたいという意思を持つ人の集まりである。研究機関や組織の垣根を超え、横の連携を進めるために活動する。
2016年の活動として、「第2回つくば横の会」を開催する。

第2回つくば横の会プログラム（案）

14:00～14:10【オープニング】［総合司会］江渡浩一郎、落合陽一、くとの

14:10～15:00【第1セッション】 **「つくばならではの科学技術コミュニケーション」**

概要：つくばには、研究者も実験室も一流の本物が身近に存在する。そのような街は他にはないだろう。しかし、科学技術コミュニケーションにおいて、現状ではそのような利点を活かしているとは言えない。どのようにすれば、つくばならではの科学技術コミュニケーションを産み出せるのだろうか。

15:00～15:50【第2セッション】 **「横のつながりから産まれるイノベーション」**

概要：イノベーションを起こす場の重要性が提唱されている。でも場ってなんだろう？　本当にそこからイノベーションが産まれるのか？　だとしたら、どんな要素が重要なのか？

15:50～16:00【休憩】

16:00～16:50【第3セッション】 **「つくばをヤバい街にするには」**

概要：つくばってなんだか元気なくない？　一流の科学者が集まってるにしては地味だよね。つくばをヤバい街にするにはどうしたらいいんだろう？

16:50～17:50　ディスカッション

17:50～18:00【クロージング】［総合司会］江渡浩一郎、落合陽一、くとの

概要：今後の活動紹介、書籍の紹介など　※19:00から場所を変えてレセプション

登壇者一覧（順不同。詳細なプロフィールはおってまとめます）

五十嵐浩也（筑波大学 大学執行役員 芸術系教授）
國土晋吾（TXアントレプレナーパートナーズ代表理事／株式会社S&C Associates代表取締役）
渡辺政隆（筑波大学 広報室 サイエンスコミュニケーター 教授）
有賀克彦（物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 主任研究者）
三中信宏（農業環境技術研究所 生態系計測研究領域 上席研究員）
取出新吾（茨城県 広報戦略室 広報監）
増田一之（株式会社ブロックチェーンハブ代表取締役社長／TXアントレプレナーパートナーズ最高顧問）
岩田洋夫（筑波大学 システム情報系 教授）
前野ウルド浩太郎（国際農林水産業研究センター）
鎮西清行（産業技術総合研究所 健康工学研究部門 副研究部門長）
妻木俊道（宇宙航空研究開発機構（JAXA） 研究開発部門 主任開発員）
大池秀明（農業・食品産業技術総合研究機構）
岩淵志学（岩淵技術商事株式会社 代表取締役）
加藤淳（産業技術総合研究所 情報技術研究部門 研究員）
芝原暁彦（産業技術総合研究所 地質標本館 企画運営グループ）
掛谷英紀（筑波大学 システム情報系 准教授）
尾形正泰（産業技術総合研究所 情報技術研究部門 研究員）
橋本悠希（筑波大学 システム情報系 助教）
小野龍一（東京工科大学）
落合陽一（筑波大学 図書館情報メディア系 助教／メディアアーティスト）
鶴岡マリア（サイマックス株式会社 代表取締役CEO）
岡田小枝子（高エネルギー加速器研究機構 広報室 広報室長）
高野義彦（物質・材料研究機構 ナノフロンティア材料 グループリーダー）
梶田秀司（産業技術総合研究所 知能システム研究部門 ヒューマノイド研究グループ 主任研究員）
岡瑞起（筑波大学 システム情報系 准教授）
荒木健太郎（気象庁気象研究所 予報研究部 第三研究室 研究官）
すすたわり（株式会社SUSUBOX代表取締役／FPGA-CAFE/FabLab Tsukuba店長）
くとの（チームSRSIV代表／ニコニコ学会β運営委員長）
江渡浩一郎（ニコニコ学会β実行委員長／産業技術総合研究所 企画主幹／メディアアーティスト）

第2回つくば横の会 レセプション

こちらもいますぐ参加申し込みを！

https://www.facebook.com/events/874039129390186/

「つくば横の会」でのシンポジウム終了後に、わいわいがやがや語りあいましょう。

日時：2016年**6月18日(土) 19:00**～21:00

場所：**ボニート**（Bonito）

http://tabelog.com/ibaraki/A0802/A080201/8017595/

029-896-8855　茨城県つくば市東新井17-3 クローバーテナント 1F

定員：**40名**（先着順）

参加費：**未定**

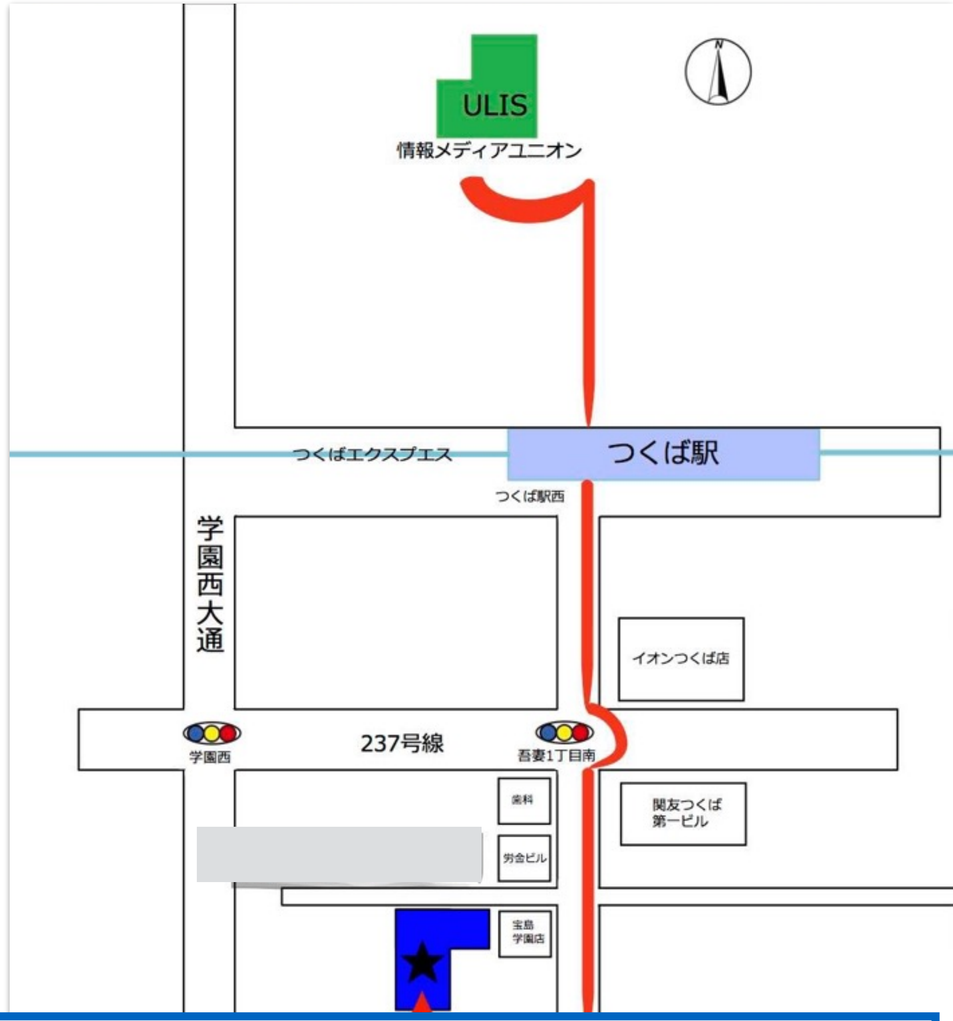
一般料金と学生料金の2つを設定する予定。登壇者も同一料金の予定です。

※参加費を事前徴収するために、Peatixを別途立てることを検討しています。おってアナウンスいたします。

※Facebookアカウントが無い方は、つくば横の会事務局<TsukubaYokonokai [at] qwik.jp>までご連絡ください。

※参加者管理の手間をおさえるためできるだけFacebokでの参加登録をお願いします

主催：つくば横の会＋筑波大学土井研究室＋落合研究室



地図は昨年のものですが、今年もほぼ同じ場所を検討中です

運営協力者募集！

つくば横の会の運営は、若干名のボランティアで進めております。
ぜひ運営へのご協力をお願いします！

1. 趣旨にご賛同いただき、ご協力いただける場合、まずは事務局までご連絡ください

つくば横の会事務局 <TsukubaYokonokai [at] qwik.jp>

2. お話をしつつ、どのような仕事を担当していただくか決めましょう

お願いしたい仕事の一覧があり、そこから選んでいただくことになります。下記は一例です。

当日までの仕事：企画、運営、登壇者との連絡、レセプションの手配、広報、デザイン（ロゴなどのデザイン）など

当日運営：設営、受付、ニコニコ生放送、カメラ管理、撮影（カメラマン）、Twitter実況中継、まとめ記事作成など

登壇者プロフィール

確認がとれたものから順に掲載

取出新吾（茨城県 広報監）

1967年千葉県八千代市生まれ。茨城県守谷市在住。青山学院大大学院理工学研究科物理学専攻修士課程修了。インテル入社時に茨城県に移り住む。インテルではエンジニア、営業、情報システム、セールスプロモーション、市場開発等の職務を経験した後、茨城県庁で2年間広報ＩＣＴディレクターとして常駐。20年以上勤めた同社を退職し2015年春から現職。

落合陽一（筑波大学 図書館情報メディア系 助教／メディアアーティスト）

1987年東京生まれ、メディアアーティスト、筑波大学助教 デジタルネイチャー研究室主宰、VRC理事。筑波大学でメディア芸術を学び、東京大学で学際情報学の博士号を取得(学際情報学府初の早期修了者)。映像を超えたマルチメディアの可能性に興味を持ち、デジタルネイチャーと呼ぶビジョンに向けて研究に従事。映像と物質の垣根を再構築する表現を計算機物理場(計算機ホログラム)によって実現している。著作に『魔法の世紀』(Planets刊)、『これからの世界をつくる仲間たちへ』（小学館）がある。

くとの（チームSRSIV代表／ニコニコ学会β運営委員長）

電子工作や自作真空管アンプにいそしんだ小学生の頃、将来の夢はリニアモーターカーの研究開発。人間が生きる根源を問いたくて哲学・宗教学の道に進路変更するも、大学生時代は文系学部からロボットコンテストに参戦。その後は宗教思想の文献研究を続けたが、ひょんなことでLED5000個使用の初音ミク電飾ウェディングドレスをチームで制作してからニコニコ学会βに関わり、研究者人生に大きな転機が訪れる。文系学部の危機が叫ばれるなか、実装のない思想・思想のない実装を打破すべく「作る人文学」をかかげ、人文系と理工系の境界領域で活動。抽象的で難解な宗教思想の概念を視覚化・可触化し、誰にも理解しやすい感覚対象として表現するなど、先鋭的な研究を進めている。

江渡浩一郎（ニコニコ学会β実行委員長／産業技術総合研究所 企画主幹／メディアアーティスト）

2010年、東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士（情報理工学）。1997年、アルス・エレクトロニカ賞グランプリを受賞（sensoriumチームとして）。2001年、日本科学未来館「インターネット物理モデル」の制作に参加。2011年、ニコニコ学会βを立ち上げる。ニコニコ学会βは、2012年にグッドデザイン賞、2013年にアルス・エレクトロニカ賞を受賞。産総研では「利用者参画によるサービスの構築・運用」をテーマに研究を続ける。主な著書に『ニコニコ学会βのつくりかた』（フィルムアート社）、『進化するアカデミア』（イースト・プレス）、『ニコニコ学会βを研究してみた』（河出書房）、『パターン、Wiki、XP』（技術評論社）。ホームページ：http://eto.com/

以下、参考資料

第1回つくば横の会の記録（2015年6月26日）

設立趣意：

1. つくばの研究所間の横のつながりを作りたい
2. つくばにおける科学コミュニケーションを検討したい

18:00～18:10、趣旨説明：江渡浩一郎（産総研）、落合陽一（筑波大）

18:10～19:10、セッション1「つくばの野生の研究者」

座長：落合陽一（筑波大）、登壇者：辻順平（日曜数学者）、すすたわり（FabLab Tsukuba）、岡瑞起（筑波大）、大竹潤（第55次南極地域観測隊・越冬隊）、多田將（ミリタリー研究家）、鶴岡マリア（サイマックス）

19:10～20:10、セッション2「つくばの研究機関」

座長：岡瑞起（筑波大）、登壇者：高野義彦（NIMS）、和田有史（農研機構）、荒木健太郎（気象庁気象研究所）、梶田秀司（産総研）、岡田小枝子（KEK）、くとの（チームSRSIV）

昨年のつくば横の会の様子は以下をご覧ください

http://togetter.com/li/840524

http://www.nicovideo.jp/watch/1437078355

http://www.nicovideo.jp/watch/so26722530

関係者による関連書籍の紹介

稲見昌彦『スーパーヒューマン誕生！』（2016/2）
身体拡張技術から超人スポーツプロジェクトまで

高須正和『メイカーズのエコシステム』（2016/3）
中国・深圳のメイカーズムーブメントの熱気を伝える

有賀克彦『未来の科学者のためのナノテクガイドブック』（2016/4）
未来の科学者にむけてナノテクの魅力をわかりやすく伝える

落合陽一『これからの世界をつくる仲間たちへ』（2016/4）
コンピュータがもたらす新世界で輝くために、大切にすべきことがわかる

江渡浩一郎＋くとの『ニコニコ学会βのつくりかた』（2016/5）
ニコニコ学会βの運営から共創型イノベーションへ

荒木健太郎『雲の中では何が起こっているのか』（2014/6）
雲ができる仕組みから気候変動との関わりまで、その魅力を余すことなく伝えます

ユーザーを巻き込む研究開発
ユーザー参加型研究の場「ニコニコ学会β」

ニコニコ学会βは、プロ研究者と野生の研究者が共に
自分の研究成果を発表・共有できる場として作られた
ニコニコ動画などのメディアを通じて研究発表を行い、
コメントによってフィードバックを得ることができる

5年計画で実施。2015年12月に最終回を迎えました

niconicogakkai.jp

ニコニコ学会β
NicoNico Gakkai

第2回ニコニコ学会β
「イノベーションと社会規範」

第8回ニコニコ学会β
「現実をハックする異性装」

第2回ニコニコ学会β、スケルトニクス

第5回ニコニコ学会β
「いきものマテリアル」

第2回つくば横の会開催概要 Ver.0.9

2016-06-18土 14:00～18:00 第2回つくば横の会＠筑波大学 春日キャンパス
5/28 Ver.0.9、プロフィール追加。／5/25 Ver.0.8、公開情報更新。／5/23 Ver.0.7、公開情報切り分け。登壇者追加。／5/18 Ver.0.6、公開に向けての情報切り分け。／5/15 Ver.0.5、開催概要をまとめた。登壇者追加。スケジュールを追加。／5/13 Ver.0.4、登壇者への伝達事項を追加。登壇者追加。／5/12 Ver.0.3、登壇者追加、レセプション案を追加。／5/10火 Ver.0.2、登壇依頼開始。登壇者リスト化開始。／5/9月 Ver.0.1、内部公開版。